

第三節 魚雷戰技ニ關スル諸法規

第一項 魚雷戰技ニ關スル諸法規ノ由來ト其ノ範圍

明治三十七八年戰役ハ實ニ我海軍ニ於ケル曠古ノ偉業ニシテ明治維新以後孜孜經營三十有餘年ニ亘ル成果ノ試金石タリシハ茲ニ贅セズ

本戰役終ルヤ當局ニ於テハ本戰役中ノ一事實一教訓ノ微モ之ガ善用ニ懈ラザランコトヲ努メ既記水雷術ニ關スル諸法規ノ改善調査ノ如キ斯術ニ關スル限リ其ノ努力ノ表現ト稱スベキモノナリ而シテ該調査ノ結果議決項目等固ヨリ多種多様ニ涉ルモ其ノ重要ナルモノノ一ハ實ニ水雷術教育ニ關スル方式手段ニシテ既述發射規則、發射訓練規則ハ之ガ基礎ヲ爲スモノナルガ本項ニ於テハ其ノ一部タル魚雷戰技ニ關スル諸規程ノ變遷進歩ニ就キ概述セントス而シテ左ニ魚雷戰技即チ魚雷戰鬪發射ノ目的解説ニ就キ創始時ノモノト現行ノモノトヲ對照比較シ參考ニ資ス

明治四十一年制定魚形水雷發射規則中

戰鬪發射ハ實戰ノ狀況ニ在リテ主トシテ各級指揮官ヲシテ發射指揮法ヲ練磨セシメ軍艦、驅逐隊艇隊及潜水艇隊ノ水雷戰鬪實力ヲ檢スルヲ以テ目的トシ各艦艇ノ定ムル發射指揮法ニ依リ實施スルモノトス

昭和四年現行魚雷發射訓練規則中

戰鬪發射ハ實戰ニ近邇セル狀況ノ下ニ主トシテ魚雷戰指揮法及發射術ヲ研究練磨セシムルヲ目的トス

(備考)

魚雷檢定發射(四十一年ヨリ大正前半ニ亘リ行ハル)ハ魚雷戰技ノ部類ニ屬セザルモ中央當局ニテ檢定發射ノ細項規定ヲ定メシ期間ノ檢定發射ヲモ便宜上本節ニ收ムルコトトセリ

